

珠洲

広報すず
No.808
December 2021

12

ありがとう「芸術祭」



「全作品」を紹介 (2～17 ページ)

◆ 今月の主な内容 ◆

「奥能登国際芸術祭 2020+」閉幕式・作品紹介
冬の備え～除雪の季節になりました～
今月のお知らせ ほか





問い合わせ
奥能登国際芸術祭実行委員会事務局
〒927-1214
石川県珠洲市飯田町13-120-1
TEL 0768(82)7720
FAX 0768(82)7727
E-MAIL info@oku-noto.jp

芸術祭閉幕。48,973人が来場



▲最終日、閉館作業を終えた、スズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」スタッフのみなさん

11月5日(金)、奥能登国際芸術祭2020+が閉幕し、ラポルトすずで閉幕式が行われました。

はじめに実行委員長の泉谷市長が次にお礼と感謝の言葉を述べました。



みなさん、お疲れさまでございました。そして、ありがとうございました。奥能登国際芸術祭2020+、9月4日に開幕をし、延長を経て63日間の会期を無事終え、閉幕式を迎えることができました。コロナ禍の制約の中、アーティストのみなさんには、作品を創り上げていただきました。北川フラム総合ディレクター、協賛企業の方々、パスポートの購入にご協力いただいたみなさん、そして、何と言ってもコロナにも負けず、地震にも負けず、台風や

強風や寒さにも負けず、63日間を支えていただきました。市内外のボランティアサポーターのみなさんありがとうございました。そして、アートフロントギャラリーのみなさん、スズサポのみなさん、実行委員会事務局はじめ、珠洲市職員のみなさん、ご支援ご協力を賜りました全ての皆様方に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

コロナ禍の「方舟」

誰ひとりコロナに感染することなく、終えることができましたのは、何よりも良かったと思います。

来場者数も速報値ですが48,973人と多くの方々にお越しをいただきました。コロナ禍で大きなダメージを負った市内の宿泊・飲食・観光関連を中心に、市内経済はズいぶんと好転したと思います。

そして、奥能登国際芸術祭をご覧になられた方々、コロナ禍のストレスから解放されたのではないかと思います。スズ・シアター・ミュージアムを手掛けた南条さんは、テーマを「光の方舟」とされましたが、奥能登国際芸術祭



2020+が、コロナ禍の「方舟」になったと感じています。

今後も芸術祭とともに新たな動きを

芸術祭は単なるイベントではなく、このさいはての珠洲から人の流れ、時代の流れを変える運動だと考えています。おかげさまで珠洲市では、今年度上半期において、転入者数が転出者数を上回る、転入超過となりました。

今後も芸術祭とともに、新たな動きを生み出していききたいと考えています。引き続きご支援ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、閉幕のあいさつとお礼とさせていただきます。



コロナ禍で分断された人と人をつなぎなおす

芸術祭の運営にあたり、さまざまな分野で大勢の方のご協力をいただきました。

閉幕式では、関わったみなさんのごく一部ですがお話を伺い、63日間の会期を振り返りました。

検温・受付業務・コロナ対策を通して

期間中、最も多くの方が検温に訪れたスズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」。偶然、初日や最終日の検温スポットを担当した、教育委員会事務局の坂頭佳代子専門員は、「訪れた方々が『珠洲の人はみんな感じが良くて、いい人ばかりだね』と言ってくださり、本当にうれしく思いました」と振り返りました。

また、市外からのサポーターなどへの抗原検査をはじめ、新型コロナウイルスにあたった健康増進センターの三上豊子所長は「来られる方みなさんが、珠洲のことをものすごく大事に思われていて、元気

すずアートのバスの運行を通して

地元ガイド付き作品鑑賞バス「すずアートバス」も大変好評

をいただきました。感染者を出すことなく無事に終えられて、安堵しています」と話しました。

サポーター活動を通して

前回芸術祭を鑑賞し感銘を受け、今回はサポーターとして関わった、珠洲出身で金沢市在住の長岡敬さんは、「若いころは珠洲に対して後ろ向きな気持ちもありましたが、前回の芸術祭で、珠洲に生まれて良かったとあらためて感じました。今回、サポーターとして多くの方と関わり、若いころの皆さんの気持が癒され、再生されていく、と感じた芸術祭でした」と語りました。



また、芸術祭ボランティアサポーターの受入を行う一般社団法人サポートス

ズの、南方治代表理事は「芸術祭をきっかけに珠洲という地のことをものすごく誇りに思うことができました。たいへんありがたいと思っています」と語りました。

続いて、スズズカに作品を展開する作家ひびのこづえさんのファンでサポーター活動に加わった、小岩奈保子さん(小松市)は、「1か月珠洲に滞在しました。好きなアーティストの展示場所で働けるなんて、夢みたいな日々でした」と振り返りました。

地域のサポーターを代表して

作品No.1「時を運ぶ船」の旧清水保育所で、前回の芸術祭に引き続き、毎日案内をしてきた南昭義さんは、「芸術というの、人の心をつかむ大変なものだと感じています。受付に携わった老人会の会員一同、お客さんから元気もらいました。清水地区を代表して御礼申し上げます。これからも、ずっとあの作品を守り、大事に育てていきたいです」と感謝と決意を語りました。

作品No.44「黒い雲の家」の古民家で、作品案内をした田



畑稔さんは、「吉ヶ池のみんなのおかげで、やってもらえました。たまたま私がここに立っていますが、全員が代表です。みなさんのおもてなしのおかげで、作品が話題になり、また、共感を得たのではないかとおもいます」と振り返りました。

スズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」の運営に携わった吉原忠男さんは、「昔懐かしい道具を見て、思い出に浸る夫婦や涙を流す人がいて、心温まりました。アートを見た人は、みんな恵比寿さんのような良い顔になります。また、何組もの記念写真を撮り、中には初めての家族写真になった、という方もいて、うれしく思いました」と語りました。

会期終了後も、15作品が残ります

■常設作品(会期終了後も残る作品)

【2020+作品】

- No.02 「スズ・シアター・ミュージアム『光の方舟』」 全8作家
- No.10 「Autonomo」 カールステン・ニコライ
- No.12 「記憶への回廊」 山本基
- No.20 「植木鉢」 大岩オスカル
- No.25 「あかるい家 Bright house」 中島伽耶子
- No.33 「石の卓球台第3号」 浅葉克己

【2017年からの更新作品】

- No.08 「幻想考」 さわひらき
- No.24 「スズカ Come and Go」 ひびのこづえ
- No.30 「『いのりを漕ぐ』2021」
金沢美術工芸大学アートプロジェクトチーム [スズプロ]

【2017年作品】

- No.01 「時を運ぶ船」 塩田千春
- No.15 「漂移する風景」 リュウ・ジャンファ
- No.18 「Something Else is Possible / なにか他にできる」
トビアス・レーベルガー
- No.34 「小さい忘れもの美術館」 河口龍夫
- No.36 「うつしみ」 ラックス・メディア・コレクティブ
- No.46 「珠洲海道五十三次」
アレクサンドル・コンスタンチーノフ

※6ページからの作品紹介では、上記作品に **常設作品** の表記をしてあります



(写真全てロビー・ハンソン。上・下は表紙使用写真)

総合ディレクター総括

「大きな可能性をひらく」

北川フラム

無事に終わってうれしく思います。地元の方、サポーターの方、市の職員の方、ありがとうございました。また、支援いただいた企業のみなさんをはじめ、関係のみなさまに感謝申し上げます。

今回は、コロナ禍により移動・会話・会食ができず、そういった中で開催できた芸術祭は奥能登国際芸術祭が初めてではないでしょうか。

また、1年の延期というのは大変なもので、アーティストやサポーターが気持ちを持ち続けるのは相当困難で、他の例を見てもそう思います。この困難を乗り越え、開催にこぎ着けてくださったことに、あらためて感謝を申し上げます。

さて、課題ということですがやはり「食」です。お弁当「スズ弁」が提供され、これは大変評判が良かったのですが、もっと会食ができる機会を持ちたかった。珠洲は食のレベルがダントツに高いので、それをもっと伝えていきたいです。

とはいえ、コロナ禍の中で、感染者を出さずしっかりとやってきたことは、これからの博物館やミュージアム、芸術祭にとって一つの指針を示せたと思います。

珠洲のコミュニティの強さ、10地区全てで展示できたことが大きな力で、これが成功を支えてくれました。また、珠洲は、歴史・生活文化・地形・気象さまざまなものが豊かです。珠洲が、これからの大きな可能性を開くだろうと期待しています。



開催概要の報告

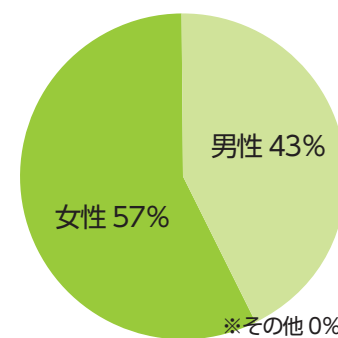
■会期 9月4日(土)～11月5日(金)
(63日間)

- ・まん延防止等重点措置により、屋外作品を中心に公開するなど、制限付きで9月4日(土)に開幕
- ・まん延防止等重点措置の解除(9月30日)により、10月1日(金)から全ての作品を公開
- ・10月24日(日)～11月5日(金)まで、会期を12日間延長

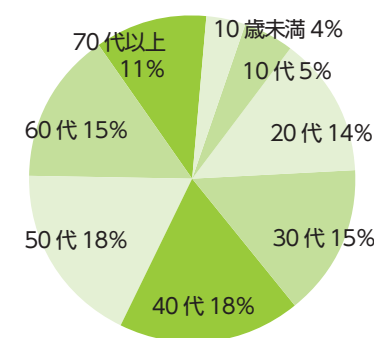
■来場者数 … 48,973人(速報値)

9月(4日～30日)	27日間	…	11,030人
10月(1日～31日)	31日間	…	32,373人
11月(1日～5日)	5日間	…	5,570人

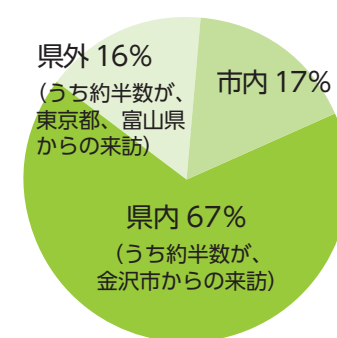
来場者データ(男女別)



(年代別)



(居住地別)



■検温スポット

①スズ・シアター・ミュージアム	16,002人
②道の駅すずなり	10,501人
③さいはてのキャバレー	14,602人
④旧鶴飼駅	7,286人
(臨時)旧栗津保育所	582人
合計	48,973人

■ツアー・視察・アートバス

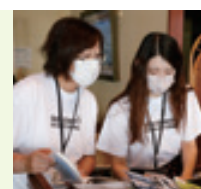
- ・受入れツアー 77本、1,713人
- ・受入れ視察 28本、106人
- 主な視察(新潟県十日町市、香川県、横浜市、米・豪大使館など)
- ・すずアートバス 合計126回、1,199人
 - Aコース 32回 318人、Bコース 31回 261人
 - Cコース 31回 273人、Dコース 32回 347人

■作品・案内施設など

- ・作品数 53組 46か所
(うち、受付を設置した作品…20か所)
- ・案内施設
 - ①公式インフォメーションセンター(さいはてのキャバレー内)
 - ②道の駅すずなり窓口
 - ③すずアートバス受付(すずなり内)

■イベント・ショップ

- ・イベント
 - ①パフォーマンスイベント(ラポルトすず中庭、スズスカ)
 - ②狂言(芸術祭開催記念講演:ラポルトすず)
- ・ショップ
公式ショップ(キャバレー内)、特設店舗(スズ・シアター・ミュージアム)、スズスカ施設内ショップ





05 「きのうら、きのうら」

蓮沼 昌宏 (日本)
Masahiro Hasunuma (Japan)

日置地区(木ノ浦ビレッジ)



▲木ノ浦や珠洲焼にまつわる物語などが、いわゆるパラパラ漫画に。

木ノ浦海岸を望む場所で「キノウラ」(1895 年頃に発明された、ハンドルでリールを回して見る動画鑑賞装置)を見る作品。蓮沼さんは、かつては時代の最先端で、いまも人の心を打つ「キノウラ」に、珠洲と同じ魅力を感じ制作しました。「間垣」をイメージした空間の中に、8つの短編が用意されました。



04 「私のこと考えて」

スボード・グプタ (インド)
Subodh Gupta (India)

大谷地区(笹波海岸)



▲作品展開場所の草刈りなど、地元のみなさんのご協力をいただきました。

古くから、日本海に面し強風と荒波に見舞われる外浦の海岸には、大陸から流れ出たものを含むさまざまな漂流物が流れ着きます。現在では、そのほとんどが消費社会で発生したプラスチックごみ。そんな漂着ゴミが巨大なバケツから流れだすこの作品は、環境問題への警鐘をならしています。



03 「息づかい」 「息づかいー旗」

キムスージャ (韓国)
Kimsooja (Korea)

大谷地区(鰐崎海岸)



▲もう一つの作品は、鏡の手前にある小さな小屋。ガラス戸が光の透過で美しい模様を映し出した。

三方を海に囲まれた鰐崎の岬に、水平線を映す鏡面パネルを3台設置。雄大な外浦の海、美しい集落の景観を映し出し、夕暮れには日本海に沈む夕日が映し出され、息をのむ絶景に。そこに住む人々や、遠く大陸に住む人々の息づかいを思い起こさせる作品となりました。



常設作品

01 「時を運ぶ船」(2017)

塩田 千春 (日本)
Chiharu Shiota (Japan)

大谷地区(旧清水保育所)



▲作品の説明をする「清水喜楽会」の南さん(左)

塩田に敷きつめる良質な砂を運ぶための砂取舟から、空間いっぱいに赤い糸を巡らせ、塩づくりを伝えてきた人々の歴史と記憶を紡いだ作品。前回の芸術祭で発表され、多くの人を魅了してきました。また、地元老人会「清水喜楽会」のみなさんが、会場の清掃や受付、案内をしてくださっており、温かなおもてなしが好評でした。



07 「クジラ伝説遺跡」

トゥ・ウェイチェン (台湾)
Tu Weicheng (Taiwan)

日置地区(旧日置小中グラウンド)



▲「遺跡が出土した!」という偽のニュース映像の撮影も制作され、公開されました。

奥能登には、縄文人が食したイルカやクジラの骨が多数出土し、珠洲にも鰐崎海岸に明治以降3回クジラが座礁したことを記録する石碑があり、クジラにまつわる伝説が多く残されています。そんな歴史や地元の方の聞き取りを元に、「体長10mで4本足のクジラの骨が出土した」という考古遺跡を作った作品です。



06 「Identification - 同一視すること」

原 広司 (日本)
Hiroshi Hara (Japan)

日置地区(木ノ浦海岸)



(写真: ロビー・ハンソン)

「シグマ(8つの孔)」と「ブーケ(8つの花びら)」という2つの東屋(写真右)を並べ、東・西・北を示す3基の三角柱を配置。古今東西の文学作品の舞台と木ノ浦を結んだ作品です。原さんは、「きみの、海と地球を巡る想像力を、図形化してある」と言います。



▲「余光の海」南条嘉毅

02 「スズ・シアター・ミュージアム『光の方舟』」

大谷地区(旧西部小学校)

常設作品

「大蔵ざらえ」で珠洲市内の約70軒の家々から集められた民具、日常生活の品々が一堂に集結。民具と現代アートが融合した、世界初の「モノが自ら語りだす」劇場型民俗博物館となりました。昔懐かしい民具が音と光のプログラムでよみがえり、多くの来場者の感動を呼びました。



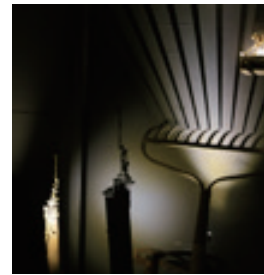
▲「ドリフターズ」OB I



▲「Soilstory- つちがたり」世界土協会



▲「覗いて 眺めて」竹中美幸



▲「静かに佇む」久野彩子



▲「母音／海鳴り」橋本雅也



▲「The missing shade 59-1」
「Seascape」[Untitled]
三宅砂織



▲「待ち合わせの森」大川友希



13 「わたしたちの乗り物 (アース・スタンピング・マシン)」

フェルナンド・フォグリノ (ウルグアイ)
Fernando Foglino (Uruguay)

蛸島地区(鉢ヶ崎海岸)



珠洲焼に施されたさまざまな文様からイメージを得たフォグリノさん。巨大な手押しスタンプ機で、その文様を押す作品を制作しました。他にも、竹で作ったぽっくりで文様を押すこともでき、家族連れなど多くの人が楽しみました。



(写真:ロビー・ハンソン)

常設作品

12 「記憶への回廊」

山本 基 (日本)
Motoi Yamamoto (Japan)

三崎地区(旧小泊保育所)



▲作品には、約7トンの塩が使用されました。

旧小泊保育所に青と白の迷路のような模様を描き、奥に塩の階段が築かれる。山本さんの大切な思い出と今の自分をつなぐ路の模様、浄めの塩から着想した塩の階段は圧巻で、見る人を引き込みました。かつての保育所の活気と現在の静けさが混ざり合い、多くの人がそれぞれの記憶への回廊を往来しました。



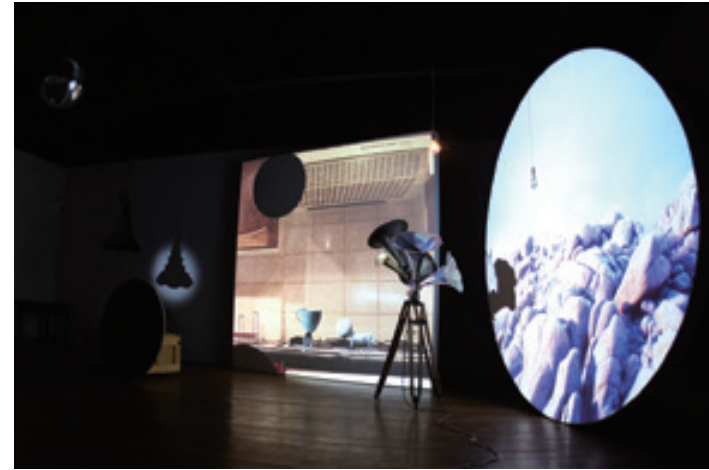
09 「ornaments house」

キジマ 真紀 (日本)
Maki Kijima (Japan)

日置地区(狼煙の船小屋)



地元のみなさんやサポーター、青年団が、一番の思い出を題材に糸と布でオーナメントを制作し、100年前から使われていたという船小屋につりさげた作品です。古時計や干し柿、ソリに乗った雪だるまや懐かしい人の顔。地元のみなさんは、「まいこと縫うね」「のきや」と、思い出の詰まった作品を愛でました。



常設作品

08 「幻想考」

さわひらき (日本)
Hiraki Sawa (Japan)

日置地区(旧日置公民館)



▲会場のさまざまな場所に、映像やモビールなどが配置され、見る人を楽しませた。

前回の芸術祭に引き続き、旧日置公民館にドローイング(線画)・彫刻・モビール・映像・音の作品を展開。光と闇を内包した空間に、奥能登の神事「あえのこと」とさわひらきさんの生い立ちに関わる「新興住宅地」に通底する幻想性を描きました。前回からのファンはもちろん、今作品のリピーターも数多く訪れました。



常設作品

15 「漂移する風景」(2017)

リュウ・ジャンファ (中国)
Liu Jianhua (China)

蛸島地区(珠洲焼資料館)



中国の第一の陶都・景德鎮の磁器と中世日本を代表する珠洲焼を混在させ、能登半島と大陸の文化のあり方を問う作品です。前回の芸術祭では、見付海岸に流れ着いたかのように見附島の前に並べられ、現在は珠洲焼資料館の周囲に場所を移しています。



14 「珠洲(16mm)、珠洲(デジタル)」

カン・タムラ (アメリカ/日本)
Can Tamura (USA / Japan)

蛸島地区(珠洲焼資料館)

約40年前に復興した珠洲焼をめぐる物と人の営みに、16ミリフィルムカメラと、デジタルビデオカメラで迫った作品。珠洲焼資料館の2階にフィルム映写機、屋外の復興窯にデジタルの映像が流され、アナログとデジタルの組み合わせにより、文化的な記憶が表現されました。



11 「海をのぞむ製材所」

Noto Aemono Project (日本)
のとあえものぷろじえくと (Japan)

三崎地区(新出製材所)



▲2階には、利幸さんの父、幸雄さんが製材業にける思いを語る映像が。

沖縄、東京、珠洲のデザイナー・職人が出会い、海を望む新出製材所にベンチやテーブルを並べ、憩いの場を提供しました。運搬の都合上、海の目の前に製材所があるのはとても珍しく、「山と海が近い珠洲だからこその景色。山と海の関係性を見直してほしい。」と、同製材所の新出利率代表は語りました。



常設作品

10 「Autonomo」 「図書室：カールステン・ニコライ さんが推薦する子どもの本」

カールステン・ニコライ (ドイツ)
Carsten Nicolai (Germany)

三崎地区(旧栗津保育所)



旧栗津保育所の遊戯室に吊るされた、9枚の大きな金属の円盤。そこに、部屋の奥から飛ばされるテニスボールが跳ね返り、音の偶然性を楽しめます。閉鎖した保育所への思いを「遊び心」や「おもちゃ」、「子どもらしさ」をキーワードに表現した作品です。

▲ニコライさんが選んだ世界の絵本も展示されました。



(写真:ロビー・ハンソン)

21 「ごめんね素直じゃなくて」

クレア・ヒーリー &
ショーン・コーデイロ
(オーストラリア)

Claire Healy & Sean Cordeiro (Australia)

正院地区(旧喫茶アンアン)



バンドのステージや昭和の面影の残るカウンター、漫画本が詰め込まれた本棚。かつて人々の憩いの場であった旧喫茶アンアンの店内いっぱいに、漫画雑誌の古本を素材とした満月のオブジェが設置されました。月は、昔の漁師が満ち欠けを便りに漁に出ていたこと、古本は消費社会へのメッセージがこめられています。



常設作品

20 「植木鉢」

大岩オスカル
(ブラジル/アメリカ)

Oiwa Oscar (Brazil / USA)

正院地区(旧正院駅)



旧正院駅を会場に、焼酎造りに使われていた大型タンクを植木鉢に見立て植樹した作品です。モミジやヤマボウシなど、紅葉が楽しめる8本の木を植えてあります。元々、旧正院駅にはたくさんの桜の木があり、大岩さんは、「春の花見と合わせて、憩いの場となることを願い制作しました」と話しました。



17 「連続する生命」

田中 信行 (日本)
Nobuyuki Tanaka (Japan)

蛸島地区(旧島崎家)



北前船の廻船問屋を営み、松前交易に従事していた島崎家。時には旅客を乗せることもあり「松前行くなら三蔵の船で」と言われていました。田中さんは、そんな島崎家の人々に思いをはせ、古く縄文時代から受け継がれる漆による立体作品で、生命の根源的な力を表現しました。



16 「mesocyclone / 蛸島」

青木 野枝 (日本)
Noe Aoki (Japan)

蛸島地区(旧高砂湯)

▲浴場内には「立山」と命名された石けんの作品が点在。

約30年前に営業をやめた高砂湯で、しつらえや装飾はかつてのままに、大気や水蒸気をモチーフとした鉄の作品が展開されました。漁師町の蛸島でかつて、漁を終えた人など多くの人が汗を流し、ゆったりつかった湯。町の人に愛されていた場所の記憶が表現されました。



23 「再会」

ムン・キョンウォン &
チョン・ジュンホ (韓国)
Moon Kyungwon & Joen Joonho (Korea)

正院地区(旧瓦工場)



▲センサーで人を感じ、自動的に音が打ち鳴らされます。

作品会場は、珠洲で最後まで稼働していた能登瓦製造工場の一つ。残された設備や工具などを打楽器とした、音の仕掛け作品です。作者の2人は、「土地の歴史や失われた産業に捧げられるラプソディ」と言います。



22 「海図」

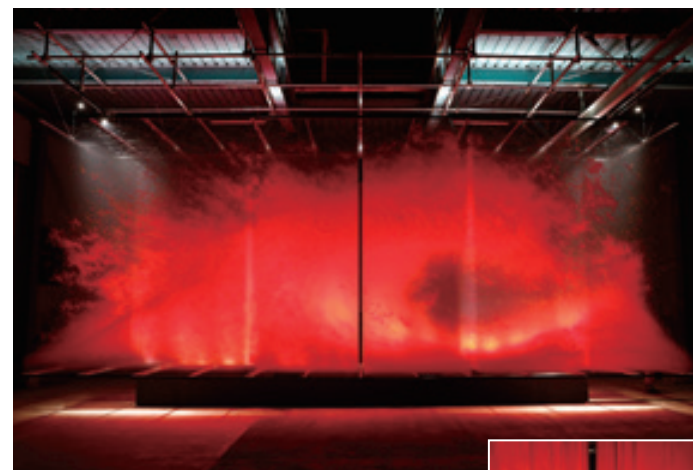
盛 圭太 (日本)
Keita Mori (Japan)

正院地区(旧大工倉庫)



▲入り口にある金のオブジェは、船をイメージしたものです

大工の旧工房兼倉庫に、古着をほどいた糸を用いて「海図」が描かれました。航海者のために、海上の見えない航路を1本の線をつないでいく海図の作成と、「布を織る」行為の関係性を問う作品です。美しく描かれた幾何学模様は、珪藻土や塩を顕微鏡で見たものから着想を得ており、下書きなしで張られています。



19 「第一波」

デイヴィッド・スプリグス
(イギリス/カナダ)

David Spriggs (UK / Canada)

正院地区(旧漁具倉庫)



デイヴィッドさんは、珠洲で最も強い印象を受けた荒波を、かつての漁具倉庫に表現しました。正面からは立体的に見えますが、1枚1枚手描きした透明なフィルムを何層にも重ねています。場所を変えるとさまざまな見え方ができ、「見る」ことの不確実性と能動性を示しています。



18 「Something Else is Possible / なにか他にできる」(2017)

トビアス・レーベルガー
(ドイツ)

Tobias Rebberger (Germany)

蛸島地区(旧蛸島駅周辺)

常設作品

色を変えうねる空間を進んだ先にある双眼鏡を覗くと、のと鉄道の終点だった旧蛸島駅の先に、トビアスさんからのメッセージ「Something Else is Possible (なにか他にできる)」が見えます。かつての終着点とその風景の先にある未来を望む、前回の芸術祭で発表された名作です。



29 「Work with #8 (旧珠洲市立中央図書館空調設備)」

今尾 拓真 (日本) Takuma Imao (Japan)

飯田地区 (旧中央図書館)

旧中央図書館の空調設備にリコーダーやハーモニカを取り付け、プログラム制御による給排気で、さまざまな音を鳴らす。築50年になろうとする建物の、長い時間の隙間で奏でられる音に、思いを巡らせる作品です。



28 「偏西風／対馬海流・リマン海流」

磯辺 行久 (日本)
Yukihisa Isobe (Japan)

直地区 (珠洲市民図書館)



珠洲を特徴づける自然的条件として、大陸から吹く偏西風と、沖合いでぶつかる寒流と暖流に注目した磯辺さん。市内小中学校で、この2つの特徴を体感するための2種類のワークショップを開催。珠洲という大地が歩んできた物語を視覚化・具現化しました。



※現在夜のライトアップは休止中

(写真：ロビー・ハンソン)

25 「あかるい家」

中島 伽耶子 (日本) Kayako Nakashima (Japan)

正院地区 (飯塚の旧事務所)

常設作品

珪藻土工場の事務所だった空き家の壁や屋根に空いた無数の穴。日中は屋内に明かりを取り込み、夜は室内の照明が穴から漏れ出し、文字通りあかるい家となる。希望や豊かさの象徴とされる「光」や「あかるい家」は、同時に現代の欲望も象徴するのではないか、「豊かさ」とは何かを問いかける作品です。



▲ダンスパフォーマンス「Come and Go」を披露した「スズイレブン」

24 「スズズカ Come and Go」

ひびのこづえ (日本)
Kodue Hibino (Japan)

常設作品

正院地区 (旧飯塚保育所)



▲「Piece to Peace」を披露した、島地保武さんと酒井はなさん

前回の芸術祭に引き続き「スズズカ」(旧飯塚保育所)にて、衣装と映像の作品が展開されました。また、ラポルトすずでは、オーディションで選ばれた一般の11名のパフォーマー「スズイレブン」によるダンスも披露。「観る側から踊る側に」という新たな展開で話題に。子どもから大人までが楽しめる時間・空間が生まれました。



31 「すくう、すくう、すくう」

中谷 ミチコ (日本)
Michiko Nakatani (Japan)

飯田地区 (スズ交通待合所2階)



飯田町のスズ交通待合所の2階を会場に、飯田町の人々の手をモデルにしたオブジェが並びました。手の形や大きさはもちろん、指の重ね方など個性の違う「すくう」を石膏とアクリルで形に。モデルとなったみなさんは、「これ、あたしの手だ!」「芸術祭に参加しとる実感が沸いてきた」と喜びました。



30 「いのりを漕ぐ」他4作品

金沢美術工芸大学アート
プロジェクトチーム「スズプロ」(日本)
SUZUPRO (Japan)

飯田地区 (旧八木家)

常設作品

前回の芸術祭から、継続制作している金沢美術工芸大学の有志によるプロジェクト。今回は、能登ヒバを用い、波と手のひらをモチーフとして家全体を彫刻化する作品を制作しました。専攻分野を超え、多くの学生が制作に関わり、作品会場である旧八木家を中心にまちなかを活気づけてくれています。



27 「移住生活の交易場」

村上 慧 (日本)
Satoshi Murakami (Japan)

直地区 (道の駅すずなり)



▲村上さんは、「能登は親しい人が多かった。そのことも伝えたい」と話しました。

東日本大震災をきっかけに、「移住する」ことで日常の行為を見直してきた村上さん。約1畳分の広さの発泡スチロール製の「家」を背負い、歩きながら泊まる場所を借り、暮らすというプロジェクトを行っています。今回は旧珠洲駅のプラットホームを交易場として、移住生活の中で得たものを展示・販売しました。



26 「水平線のナミコ」

尾花 賢一 (日本)
Ken-ichi Obana (Japan)

直地区 (本江寺の倉庫)



珠洲に伝わる漁師夫婦の悲劇を描く民話「嫁磯」を元に、出稼ぎや出征、海難など、いくつかの「さよなら」の先にあるものを絵画や漫画、彫刻などさまざまな形で示した作品です。尾花さんは「悲しさや別れではないものに出会えるのではないか」という希望と救いを求めて、作品を考えました」と語りました。



37 「月うさぎ：ルナ - クルーザー」

シモン・ヴェガ (エルサルバドル)

Simon Vega (Elsalvador)

上戸地区(柳田児童公園)



(写真：ロビー・ハンソン)

「未来は過去のなかにある」をコンセプトに、珠洲の空き家の廃材で月面探査機が造られました。見ただけでワクワクしてくる乗り物が児童公園に現れ、多くの子ども達の笑顔が見られました。また、乗り物の内部に入ることもでき、月とうさぎをテーマにしたアニメーションが上映されました。



36 「うっしみ」(2017)

ラックス・メディア・コレクティブ (インド)

Raqs Media Collective (India)

上戸地区(旧上戸駅)

常設作品

旧上戸駅の駅舎をなぞった骨組みだけの構造物。駅舎の上部に据えられたそれは、夜になると、重力から解き放たれたかのように青白く光ります。駅舎の亡霊なのか、未来の映像なのか。場所や物が持つ記憶、非物質的なものの存在を問いかける、前回の芸術祭からの継続作品です。



33 「石の卓球台第3号」

浅葉 克己 (日本)

Katsumi Asaba (Japan)

常設作品



▲レンタルの卓球セットも用意され、多くの人が楽しみました。

奥能登国際芸術祭のクリエイティブディレクターを務める浅葉さんは、「卓球六段」の卓球の名手。卓球をコミュニケーションを活発にする絶好のツールと考え、1枚の石から卓球台を制作しました。「1,000年後、仮に人類が減んでも、この卓球台は残りますよ」と笑いました。



32 「漂流記」

力五山 (日本)

RIKIGOSAN (Japan)

飯田地区(ラポルトすず)



前回芸術祭で、ラポルトすずに大好評の巨大ガチャポン作品を制作したアーティストグループの「力五山」。今回は、珠洲を支点にした、本州の形のやじろべえと、日本の425の有人島をかたどったモビールを制作しました。気温により色分けされたゆらゆらと揺れる島のモビールに、大勢が魅入られました。



(写真：ロビー・ハンソン)

39 「😭」

ディラン・カク (香港)

Dylan Kwok (Hong Kong)

宝立地区(旧鵜飼駅)



▲メッセージスタンプを押す親子

旧鵜飼駅を郵便局に見立て、絵ハガキなどによるゆったりとしたコミュニケーションを提案する作品です。駅の構内とホームには、風船でできた巨大な猿が3体。3体ともスマホの画面を見つめており、超情報化社会で気ぜわしく過ごす現代の私たちを象徴しており、はっとした人も多いのではないのでしょうか。

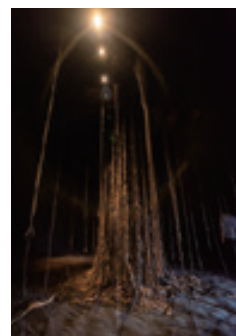


38 「網の小屋」

佐藤 貢 (日本)

Mitsugu Sato (Japan)

宝立地区(春日野の蔵)



(写真：ロビー・ハンソン)

不要となり捨てられ、自身の元へとたどり着いた「漂流物」を用いて作品制作を行う佐藤さん。定置網漁で使う巨大な網が人知れず保管された空き倉庫に「自分はこの小屋と網に呼ばれて珠洲に来たのだ」と直感しました。忘れられた存在になっていた網で小屋を覆い、内部にも網を用いた作品を設置。時が止まっていた空間に、別の時間が流れる作品となりました。



35 「奥能登半島／珠洲全景」

石川 直樹 (日本)

Naoki Ishikawa (Japan)

上戸地区(北方の倉庫)



▲地元の子ども会や地域の方による、受付やおもてなしも評判でした。

前回芸術祭で、銭湯に作品を展開した石川さんは、珠洲に通い撮り続けた、珠洲の春夏秋冬、キリコ祭りや「あえのこと」などの地域行事、高校生の部活風景などを一堂に展示しました。珠洲は、アジアへの入り口であり、島々が連なる日本列島の出口でもあるのではないか、という思いを起点に撮影された写真です。



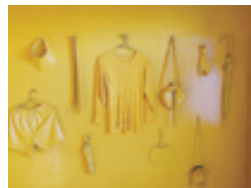
34 「小さい忘れもの美術館」(2017)

河川 龍夫 (日本)

Tatsuo Kawaguchi (Japan)

常設作品

飯田地区(旧飯田駅)



忘れられた鉄道、駅、プラットホーム。旧飯田駅を、傘やかばん、くつなどの「忘れもの」で満たし、忘れられることの意味を問う作品。前回芸術祭からの継続作品です。ホームに停車している貨物車の中は黒板になっており、鑑賞者のメッセージでいっぱい。忘れられた駅が「忘れもの美術館」に蘇った。



45 「tower(SUZU)」

金氏 徹平 (日本)
Teppe Kaneuji (Japan)

広域展開

金氏さんは、珠洲の内浦と外浦の海の違いに、「内側を想像すること、外側を想像することが同時にあるような感覚が面白い」とし、そのイメージを表現した作品を、ショッピングプラザ・シーサイドの屋上と高屋漁港の製氷施設などに展開しました。



44 「黒い雲の家」

カルロス・アモラレス (メキシコ)
Carlos Amoraes (Mexico)

若山地区 (吉ヶ池の空き家)

吉ヶ池の空き家いっぱい、紙製の黒い蝶や蛾約2万5千羽が埋め尽くした、「不在」の意味を問いかけた作品。カルロスさんは、自身の祖母が亡くなったときから、この「黒い雲」と名付けた作品を各地で展開してきました。吉ヶ池集落のみなさんが交代で受付や案内をしてくださり、訪れた人々の心を温かくしました。



41 「軌間」

サイモン・スターリング (イギリス/デンマーク)
Simon Starling (UK / Denmark)

宝立地区 (旧南黒丸駅)

廃線になった線路でシルバーのワイヤーを伸ばす作業に従事する2人の男性。再生を表現した映像作品が待合室で上映され、その映像フィルムを印刷したガラス板がかつての線路上に設置されました。廃線になった能登線と、鉄道に関わり働いていた人々に捧げる作品です。



40 「珠洲のドリームキンダーガーデン」

チェン・シー (中国)
Chen Si (China)

宝立地区 (旧柏原保育所)

宝立小中学校と七尾特別支援学校珠洲分校の生徒たちが描いた絵を立体化し、旧柏原保育所に並べました。子ども達が想像したキャラクターとカラフルなラインが合わさり、夢の世界のような空間作品となりました。子ども達が描いた原画が、どんなキャラクターになったのか探すのも楽しい作品です。



46 「珠洲海道五十三次」 (2017)

アレクサンドル・コンスタンチーノフ (ロシア)
Alexsander Konstantinov (Russia)

広域展開

常設作品

市内4か所のバス停をアルミニウムのパイプで包み込んだ、前回芸術祭の発表作品です。左右を稲架に囲まれた作品や、度々近所の方が花を飾りに来る作品など、今では珠洲の当たり前になりつつあります。2019年に他界したコンスタンチーノフさんの遺作です。



▲「上黒丸 座円 循環 曼荼羅 壺」中瀬康志

43 「上黒丸 座円 循環 曼荼羅」 ほか

チーム KAMIKURO (日本)
Team KAMIKURO (Japan)

若山地区 (旧上黒丸小中学校)

上黒丸地域を拠点に継続的に活動する、美術家、人類学者、映像作家らのチームによる作品です。10年間におよぶ活動の成果、地域のみなさんとの対話を、旧上黒丸小中学校に集結させました。地域に埋められている「人・モノ・コト」を美術的な視点で掘り起こし、里山里海を、山から再考することを試みています。



▲「更新される森」土井宏二



▲「ちいさなものがたりがかり」宇土ゆかり



◀「上黒丸 座円 循環 曼荼羅 参 一行雲流水 上黒丸〇」坂巻正美



▲「上黒丸 座円 循環 曼荼羅 式」竹川大介+野研



42 「Gravity / この地を見つめる」

四方 謙一 (日本)
Kenichi Shikata (Japan)

若山地区 (旧大坊小グラウンド)

ステンレスの板を鏡に見立て、グラウンドやかつての牛のつなぎ場につるしたモビール作品。「地球にまかせろ」ことをコンセプトに、風や人の動き、天気や季節により変わる景色を写し、若山町の豊かな自然を表現しました。四方さんは「若山町の自然や昔から続く営みを知ってもらおうきっかけになってほしい」と語りました。



(写真: ロビー・ハンソン)

小型除雪機を貸し出します

除雪車が入れない狭い道路や、歩道などの除雪を町内会のみなさんで行う場合、小型除雪機を貸し出します。台数に制限がありますので、利用を希望する方は、環境建設課まで連絡してください。
※小型除雪機の運搬は、各町内会をお願いします。

冬季の道路情報と雪みちネットワーク

雪みちネットワークは、幹線道路や病院・消防署とつながる道を確保するため、大雪時に優先して除雪する道路のことです。市役所などに備えてあるチラシや右記のQRコードを読み込むことでホームページで確認できます。



■石川の雪みちナビホームページ
http://www.pref.ishikawa.jp/michi/yuki.htm

雪捨ては日中に

雪捨て場として、次の3か所を指定しています(降雪期～3月31日)。
●鵜飼川港橋(左岸下流の砂浜) ●飯田港埋立地
●蛸島漁港埋立地
※雪捨て場には照明がないため、夜間の利用は大変危険です。日中に利用してください。

通行止めのお知らせ

宝立山を通る旧広域農道や旧国道大谷道路は、凍結・なだれが予想されるため、冬期間(12月13日～3月31日)は通行止めになります。
●市道 726 号線(旧広域農道): 宝立町大町泥ノ木地内～若山町南山地内
●広域農道: 若山町延武～岩坂町地内
●市道 670-3 号線(旧国道大谷道路): 馬縞町地内
※積雪の状況により、早めに封鎖したり解除することもあります。

冬期間臨時駐車禁止区間

<12月13日～3月31日>

市道

- 宝立町: 鵜飼交差点～のとじ荘
- 上戸町: 伊吹牛乳店～室谷牛乳店
- 飯田町: 向鉄工所～板谷歯科通り
- 野々江町: NTTドコモ～北陸電力
- 正院町: 正院本町交差点～正院小路交差点
- // : JA すずし正院支店～浜塚酒店
- 蛸島町: 蛸島交差点～なかね理容店
- // : 蛸島漁港～蛸島保育所入口交差点
- 三崎町: 引砂バイパス起点～終点(旧県道区間)

積雪・降雪の現在の雪

積雪の深さと降雪量の実況を1時間ごとに約5キロ四方の細かさで推定します。

詳しくは…



■金沢地方気象台 ☎076(260)1461

凍結から水道管を守ろう

気温が氷点下になると、凍結して水が出なくなったり、水道管が破裂したりします。凍結を防ぐために水道管を保温しましょう。また、水道管のトラブルを防ぐため、月に1～2回は家庭内の水漏れをチェックしましょう。

▽保温の仕方

市販の保温材や布(タオルなど)で蛇口まで完全に包み、保温材などが濡れないよう上からビニールを巻きます。

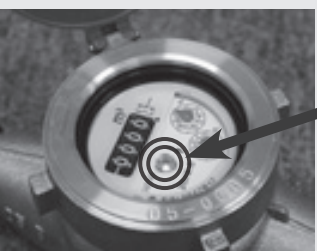
▽トラブルが起きた場合

●水が凍って出ない 自然に溶けるのを待つか、蛇口を開け、凍った部分に布かタオルをかぶせて、【ぬるま湯】をかけて溶かします。※熱いお湯は、ひび割れや破裂を起こすことがあるのでやめましょう。

●水道管の破裂 水道メーター近くの止水栓を閉めます。破裂部分に布やテープを巻き付けるなど応急措置をして、最寄りの指定水道工事事業者または環境建設課まで連絡ください。

▽漏水の確認方法

- ①家中の蛇口を全部閉める
- ②水道メーターボックス内のパイロットが止まっているか確認する
- ③回っていれば、指定水道工事事業者に直接修理を依頼しましょう



冬の備え

この冬も除雪にご協力をお願いします

《除雪に関すること》

- ・市道 ⇒ ■環境建設課都市整備係 ☎(82)7757
※夜間、休日は、☎(82)2222まで連絡してください
- ・国、県道 ⇒ ■奥能登土木総合事務所
珠洲土木事務所 ☎(82)2165

《水道に関すること》

- ・漏水 ⇒ ■環境建設課管理係 ☎(82)7781
※夜間、休日は、☎(82)2222まで連絡してください

除雪作業について

▽路上駐車禁止 路上駐車は、緊急車両の通行障害となり、除雪作業が大幅に遅れるだけでなく、その路線の除雪ができなくなる場合があります。路上駐車は絶対にしないでください。

▽出入り口にたまった雪は各家庭で除雪をお願いします 除雪作業では、必ず宅地の出入り口などに雪がたまりま

庭で除雪をお願いします。
▽避難路除雪 津波ハザードマップでお知らせしている一時避難路については、除雪を行います。除雪の障害になるものは移動をお願いします。
▽除雪作業が遅れる場合もあります 市の除雪作業は委託した事業所のみなさんが行っていますが、降雪時間や積雪量、倒木処理などにより、作業が遅れる場合があります。

みなさんのご協力をお願いします

●道路に雪を捨てないでください。凍結など交通事故の原因になります。災害や火災に備え、消火栓や防火水槽周辺には雪を捨てないでください。

●除雪作業には、雪寄せ場が必要になります。空き地や農地を臨時的に利用させていただく場合があります。

●枝切りされていない木は、雪の重みで木が倒れやすくなります。事前に伐採や剪定してください。除雪の障害となる木は、所有者の承認をいただく前に伐採することもありますので、ご了承ください。

●除雪作業は、路線により時間差が生じます。路線が変わる交差点などでは、雪が残っていることがありますので注意して走行してください。

●歩道は地域のみなさんで協力して除雪をお願いします。

●切れた電線には絶対に触れないでください。切れた電線を見かけた場合は、北陸電力送配電株式会社珠洲配電センター ☎(82)2239【夜間】☎0120(837)119まで連絡を。

運転は十分に注意してください

●冬季の事故は、積雪によるものとなり、凍結によるスリップ事故が多くなっています。トンネルの出入口や橋の上、車が一時停止する場所では、スリップが発生しやすいため、十分注意

してください。
●自動車の屋根に積もった雪は、乗車前に降ろすとともに、急発進・急ブレーキ・急ハンドルは避けましょう。

後期高齢者のみなさんへ

人間ドック・脳ドックの予約受付開始

後期高齢者医療保険に加入している方に、人間ドック・脳ドックの検査費用を助成します。この機会にぜひ受診して、生活習慣病などの早期発見と健康管理に役立ててください。

■対象 後期高齢者医療保険加入者

■検査機関 珠洲市総合病院

■受診期間 令和4年1月～3月



	①人間ドック	②脳ドック	①・②併用
検査日	毎週月・火・木・金曜日	毎週水曜日	毎週水曜日
所要時間(予定)	8:30～13:00	8:30～11:00・13:30～14:00	8:30～14:00
個人負担額	5,000円	3,900円	7,500円

※脳ドックは午前の検査後、時間を置いて午後から検査結果の説明があります。

※脳ドックの受診は2年に1度です。

※もの忘れのお薬を服用している方や、頭のCTやMRI検査を今年度中に受けられた方は、脳ドックを受けられない場合がありますのでご相談ください。

※同一年度内に人間ドックと後期高齢者健康診査の両方を受けることはできません。

※今年度、後期高齢者医療保険に加入された人で、国民健康保険加入時に特定健診または人間ドックの助成を受けた人は、後期高齢者の人間ドックの助成を受けることはできません。



■申し込み・問い合わせ 市民課医療保険・年金係 ☎(82)7741

介護予防のための足もみ健康教室を開催

健康体操・フットケアに参加して「元気貯筋」しませんか。教室の開催を新しく希望するグループも募集中です。

▽対象 介護保険サービス(デイサービスやホームヘルプサービスなど)を受けていない65歳以上の人

▽日時・場所

- 12月8日(水)10時 正院公民館
- 12月11日(土)10時 仁江生活改善センター
- 12月13日(月)10時 大坊生活改善センター
- 12月24日(金)13時30分 小泊集会所

▽持ち物 マスク、タオル、飲み物

▽定員 各10人(要予約)

※開催日の5日前までに左記まで申し込みください。

※感染症対策のため、検温や問診をしており、当日の体温や問診により参加を控えていただく場合があります。

※感染症の拡大状況により中止となる場合があります。

申し込み・問い合わせ

福祉課地域包括ケア推進室 ☎(82)7746

福祉・介護の仕事セミナー&個別相談

福祉・介護の仕事について、仕事内容や必要な資格などについての「セミナー」と、先着順で一人ずつの「個別相談」を行います。

▽日にち 12月16日(木)・令和4年1月20日(木)

▽時間 ●セミナー 13時30分～14時15分 ●個別相談 14時20分～15時

▽場所 ハローワーク能登2階会議室

▽そのほか ●新型コロナウイルス感染症防止のため、マスクの着用をお願いいたします。また、体調不良の場合は、参加を控えていただくようお願いいたします。●新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止や延期になる場合があります。

事前申込みは不要です。詳しくは左記まで。

■石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター ☎076(234)1151



新型コロナワクチン接種について



珠洲市では、11月29日をもって、1回目・2回目の新型コロナワクチン接種が終了しました。

これまでの珠洲市新型コロナワクチン接種状況は、以下のとおりです(11月9日(火)時点)。

	1回目接種者【接種率】	2回目接種者【接種率】
12歳以上の全市民	11,780人【92.6%】	11,681人【91.9%】
(うち65歳以上)	(6,442人【94.7%】)	(6,414人【94.3%】)

また、珠洲市での新型コロナワクチン3回目接種については、2回目の接種を終了した日から、原則8か月以上経過した方を対象に、2月から開始する予定です。対象となる方には、順次接種券を送付します。

(例：2回目を2021年5月に接種した場合、2022年1月中旬に接種券が届きます)

申し込み方法などの詳細については、今後広報すずや市ホームページでお知らせします。

◎感染予防対策の継続をお願いします◎

ワクチン接種後も、引き続き「基本的な感染予防対策」の徹底をお願いします。



問い合わせ 【受付時間 午前9時から午後5時まで(土・日・祝日を除く)】

珠洲市新型コロナワクチン接種専用ダイヤル

☎0768(82)5067



あなたの血圧はどこに当てはまる？！

健診では、血圧異常の治療を受けていない方で、上の血圧（収縮期血圧）が160以上または下の血圧（拡張期血圧）が100以上の場合、医療機関を受診していただいています。また、血圧異常の治療を受けていない方で、家庭血圧が何度もⅡ度高血圧以上になる場合は、医療機関でのご相談をお勧めします。高値血圧以上の場合は、生活習慣のアドバイスさせていただきますので、ご希望の方は健康増進センターにご相談ください。

問い合わせ ■健康増進センター ☎(82) 7742

■成人における血圧値の分類

分類	診察室血圧			家庭血圧		
	収縮期血圧		拡張期血圧	収縮期血圧		拡張期血圧
正常血圧	120未満	かつ	80未満	115未満	かつ	75未満
正常高値血圧	120-129	かつ	80未満	115-124	かつ	75未満
高値血圧	130-139	かつ/または	80-89	125-134	かつ/または	75-84
I 度高血圧	140-159	かつ/または	90-99	135-144	かつ/または	85-89
Ⅱ 度高血圧	160-179	かつ/または	100-109	145-159	かつ/または	90-99
Ⅲ 度高血圧	180以上	かつ/または	110以上	160以上	かつ/または	100以上

参考：日本高血圧学会発行 一般向け「高血圧治療ガイドライン 2019」解説冊子「高血圧の話」



要注意

健康増進センターに相談

医療機関の受診を！



ウォーキングで、高血圧のリスク軽減を！

すず健やか事業歩数イベント

下記の期間中ウォーキングに取り組んだ方へ、元気ポイントや珠洲市共通商品券が当たるイベントを開催しています。コロナ禍の外出自粛による運動不足やストレスから、体重増加や生活習慣病の発症や悪化、高齢者においては筋力低下に伴う転倒、認知症の発症や進行などの健康二次被害が懸念されています。

ぜひ、この機会にウォーキングをしながら楽しく健康づくりに取り組みましょう。

■期 間 11月7日(日)～12月18日(土)

■参加対象者 活動量計をお持ちの方

■参加方法 期間中に活動量計のデータをリーダーライター（健康増進センター・珠洲市役所・ラポルトすず・市民図書館・公民館・健民体育館・総合病院にあります）から送信してください

※活動量計の申し込みは、■健康増進センター ☎(82) 7742 まで

※30日に1回はデータを送信してください(11月分のデータも忘れずに送信してください)

※12月末までに必ず最終のデータを送信してください

■内容 ①期間中1日8,000歩以上を、週に4日以上歩いた人全員に、元気ポイントを300ポイントプレゼント。 ②期間中の合計歩数上位30人を表彰し、副賞として珠洲市共通商品券を差し上げます。

～運動中の新型コロナウイルス対策～

①1人または少人数で行いましょう

②すいた時間、場所を選びましょう

③他の人との距離をとりましょう

④すれ違うときは距離をとりましょう

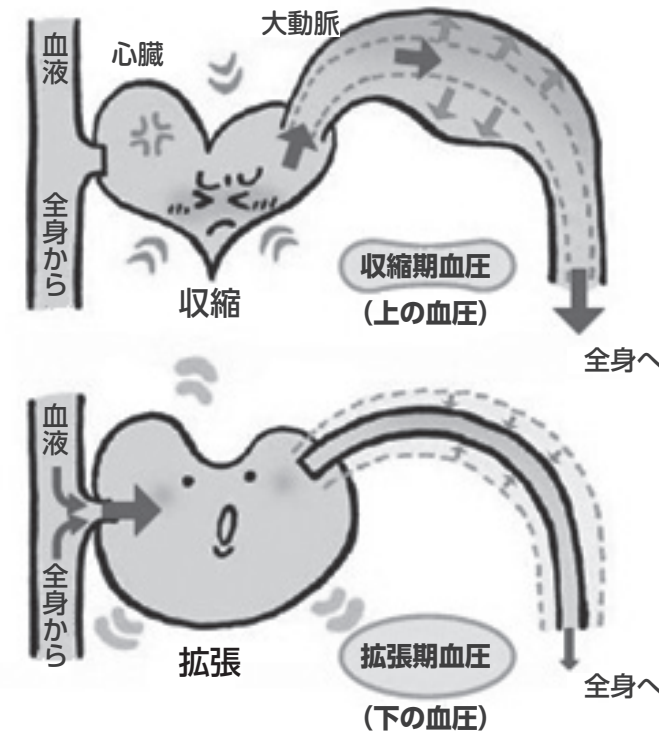


活動量計データ「毎月送信しようキャンペーン」も開催中です。9～12月に毎月データ送信した方に、抽選でプレゼントが当たります！12月も忘れずにデータを送信しましょう。

自分の健康は自分で守る



健診結果から知る！ 血圧について①



12月になり、すでに健診を受診した方も多いのではないのでしょうか。そこで、「自分の健康は自分で守る」を合言葉に、健診結果を健康増進につなげる方法をお伝えします。まずは、身近な血圧から。そもそも血圧って？ 私たちの体に流れている血液は、酸素・二酸化炭素・栄養素などの運搬や免疫・止血など、生きていく上で欠かせない役割を果たしています。また、心臓がポンプのように収縮と拡張を繰り返すことで、

24時間休むことなく血液を送り出しています。血圧とは、心臓から全身に送り出された血液が血管の壁を押すときの圧力のことです。心臓の収縮と拡張によって発生し、心臓から押し出される血液量（心拍出量）と、血管の収縮の程度やしなやかさ（血管抵抗）によって決まります。血圧、上と下の違いは？ 上の血圧は、心臓が収縮し血管に最も強い圧力が加わっている時の値で、正式には「収縮期血圧」と呼びます。この

とき、大動脈もふくらみ血液がたまりやすくなります。下の血圧は、心臓が拡張しているときに血管にかかる圧力の値で、「拡張期血圧」と呼びます。このとき、心臓から血液は出ませんが、膨らんでいた大動脈が元に戻ることで、その間もゆっくりと血液が送られます。つまり、心臓が1回収縮・拡張するごとに上の血圧と下の血圧が生まれ、全身に血液がスムーズに送られるようになっています。高齢になると動脈が硬くなりやすく、収縮時の大動脈のふくらみが少なくなるため、上の血圧は上がりやすく、下の血圧はむしろ低下する、「収縮期高血圧」と呼ばれる状態がしばしばみられます。血圧値の分類と診断について 血圧には、①病院・クリニックなどで測る「診察室血圧」、②自宅で測る「家庭血圧」、③特殊な機器をつけて15分～1時間ごとに1日かけて測る「24時間血圧」の3つがあります。



一般的には、①診察室血圧と②家庭血圧が診断に用いられます。また、高血圧でなくとも、高値血圧の人は正常血圧の人に比べて脳心血管病の危険性が高いことが分かっており、注意が必要です。診察室血圧は、少なくとも異なる日の2回以上の測定結果で判定し、上の血圧が140以上、または下の血圧が90以上であれば、高血圧と診断されます。家庭血圧は、5～7日の平均値で上の血圧が135以上、または下の血圧が85以上である場合に、高血圧と診断されます。





二三味さん(左)と番匠さん(右)、泉谷市長を囲み記念撮影。

番匠さんは、地域漁業者のリーダーとして、平成14年に市内7つの漁協を合併に導き、その後珠洲市漁業協同組合長として、石川県漁業協同組合の合併にも尽力され、市内漁業の振興と発展に寄与されています。「漁業が好きで取り組んできました。後継者の育成のため、みなさんの見本となるよう今後も頑張りたい」と決意を語りました。

11/6 芸術・文化を楽しむ 第50回珠洲市文化祭

11月6日から2日間、ラポルトすず・珠洲商工会議所を会場に、第50回珠洲市文化祭が開催されました。

開会式で、瀬戸文化協会長が「珠洲市文化協会は昭和46年9月に、27の団体の発足。以来、文化への限らない情熱と努力、創造と継続、あくなき挑戦を重ね、本日ここに36団体・会員704名で、50周年を迎えることができました。会員、諸先輩、関係のみなさまに深く感謝申し上げます」とあいさつ。その後、功労者表彰や感謝状表彰、市民文芸賞の表彰が行われました。

各会場では、生け花や絵画などのさまざまな作品が展示され多くの人でにぎわったほか、芸能まつりは新型コロナウイルス感染症対策のため無観客で実施し、後日放映するための収録が行われました。



11/5 二三味さん、番匠さんが知事表彰 農業・漁業のリーダーとして活躍

石川県農林水産業功労者知事表彰を受賞した二三味義春さん(狼煙町)と番匠栄作さん(高屋町)が泉谷市長に受賞報告を行いました。

二三味さんは、平成16年から「大浜大豆」の復活に着手し、優良種を選抜し品質を安定させたほか、「横山振興会」とともに、生産拡大と加工品開発に取り組み、地域活性化に寄与されています。「私だけでなく、横山地区の全員で取り組んできた結果です」と地域のみなさんへの感謝を語りました。



り、児童らは祭りのことを学びながら、人気アニメを題材に人形を制作しました。

花谷さんは「未来を担う子どもたちに祭りのおもしろさを伝えられた」、児童らは「刀の柄の模様を作るのが難しかった」「花谷さんと人形のポーズをこだわって作った」と、それぞれ達成感でいっぱいの様子で話し、完成を喜びました。児童らは今後、地域の方に太鼓や笛を習い、地域の伝統文化へのさらなる理解を深めます。

11/3 教育の伸展に寄与された松田さん 珠洲市教育功労賞を受賞

珠洲市表彰規程に基づく功労者表彰式が行われ、珠算暗算の普及発展を通して本市の教育の伸展に寄与された松田潤子さん(正院町)が教育功労賞を受賞しました。

式辞で泉谷市長は「松田さんのご功績に、改めて敬意を表しますとともに感謝申し上げます。今後も珠洲市の創生に向けて、より一層のご支援・ご指導をお願い申し上げます」と述べました。

松田さんは「長年子どもたちの教育に関わることができたのは、保護者や学校関係者、地域のみなさまのおかげです。今後も珠洲市の教育活動にお役に立てるよう日々精進します」とお礼の言葉を述べました。



11/4 国民年金事業の発展に寄与 珠洲市が厚生労働大臣表彰を受賞

珠洲市が、第5回市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰を受賞し、日本年金機構七尾年金事務所の仲谷勇一所長から泉谷市長に表彰状が伝達されました。

この表彰は、国民年金事業に対する功績が顕著である市区町村に行われるもので、珠洲市の国民年金納付率は87.7%(令和元年度)、窓口での相談対応や口座振替・クレジットカード納付などの説明が充実していることが評価されました。全国では珠洲市を含む5自治体が表彰され、県内では、珠洲市が唯一の受賞となりました。



仲谷所長から賞状を受け取る泉谷市長(左)



宝くじの助成金で 草刈機などを整備

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を行っており、市では、この事業を活用し地域づくりを進めています。今年度は狼煙第二区に自走草刈機、コミュニティ活動備品を整備しました。

■企画財政課 ☎(82)7716



11/19 刀祢春子さんが知事表彰 精神保健福祉活動に寄与

石川県精神保健福祉関係団体役職員知事表彰を受賞した刀祢春子さん（宝立町）が泉谷市長に受賞報告を行いました。

刀祢さんは、平成16年にメンタルヘルスボランティア「コスモスの会」に入会し、長年にわたり精神保健福祉活動に従事され、平成19年には同会会長に就任、平成24年からは地区理事として精神障がい者とその家族を支援されています。

刀祢さんは、「表彰いただいて、幸せな気持ちでいっぱいです。支えてくださいましたみなさんのおかげです。ありがとうございました」と感謝を語りました。



「受賞の感謝を含めて、高齢者福祉に役立ててください」と、珠洲市に寄附金をいただきました。

11/21 地域を超えて、絆を深める 珠洲市子ども大会2年ぶり開催！

第29回珠洲市子ども大会が緑丘中学校体育館で行われ、市内の小学校5、6年生104名が参加しました。この大会は子どもたちが地域を越えて交流し、絆を深めるために行われているもので、昨年、コロナ禍で中止となって以来、2年ぶりの開催となりました。

今回は、東京2020オリンピックにちなんだお題で単語を作る「ぴっ単語」ゲームや「新聞紙タワー」など3つの競技を行いました。

はじめは、緊張していた子どもたちも、競技を行っていくうちに自然と笑顔になり、交流と絆を深めました。



配偶者などからの暴力のない 社会をめざして

配偶者や交際相手からの暴力（DV＝ドメスティック・バイオレンスの略）は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害で、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

県や市では、11月を「いしかわパープルリボンキャンペーン」の期間とし、DVのない社会の実現を目指し、ラポルトすずのライトアップなどの啓発活動を実施しました。みなさんもあらためてDVについて考えてみませんか。

■総務課行政管理係
☎（82）7711



議会報告

令和3年第6回珠洲市議会 11月臨時会

◎可決された市長提出議案

■（仮称）珠洲市新保育所建設工事（機械設備）請負契約の締結について
（仮称）珠洲市新保育所建設工事（機械設備）は、三百苺・大樹特定建設工事共同企業体と、1億4,960万円で、請負契約を締結することとしました。

11/8 秋の火災予防運動に合わせ 「防火」に関する作品コンクール

秋の火災予防運動に合わせて、奥能登広域圏事務組合消防本部による、令和3年度「防火」に関するコンクールが行われ、11月8日～19日までショッピングプラザ・シーサイドに出展作品が展示されました。市内の入賞者は、次のみなさんです（敬称略）。

◎防火書道

【小学生の部】最優秀賞 濱田真桜（飯田小6年） 優秀賞 宮下愛子（飯田小6年）、宮田陽菜（飯田小5年）
佳作 川坂南葵（蛸島小5年）、田端真衣（飯田小4年）

【中学生の部】最優秀賞 堺胡春（緑丘中3年） 優秀賞 葛原弓月（緑丘中3年）、櫻田麻優子（緑丘中2年）

佳作 青坂莉奈（三崎中2年） 努力賞 澤村碧、濱野日菜子（緑丘中1年）

◎防火標語

最優秀賞 下兼愛翔（若山小6年） 佳作 前田和音（三崎中3年）



消防団への寄附は、 受け取ることができません

珠洲市消防団への寄附は、これまで地域の慣習として行われてきましたが、消防団は、市が設置する組織であり、団員の身分が公務員であることから、ご家庭や町内会からの寄附は受け取らないこととしました。

市民のみなさんのご理解をお願いします。

■危機管理室 電話（82）7725



江差

珠洲市と友好都市提携を結んでいる北海道江差町的话题を紹介します。

江差沖で獲れた鯿（ニシン）を味わって 第2回ニシンチャレンジカップを開催

現在の江差町の礎を築いた鯿（ニシン）。稚魚の放流によって年々、漁獲量増加の兆しが見えてきいる中、ニシンへの理解を深めてもらい、日ごろから食材の1つとして親しんでもらえるよう、連携協定を締結している北海道教育大学函館校との協働企画を実施しました。

11月13日（土）に町内商店街で開催され、学生や町民有志の方々が考案したニシンづくしの催しを実施されました。串に刺した全長20cmほどのニシンの丸焼きの販売や、町内飲食店によりニシンを材料として取り入れた創作料理コンテストのほか、空き店舗を活用し、子どもたちが描いた魚たちをスクリーンへ投影させるデジタル水族館を通して、江差のニシンの魅力を発信する場となりました。



デジタル水族館の様子。スクリーンに映り出される子どもたちが書いた魚たちを見つめる家族連れ。

案内・お知らせ

**珠洲市地域職業相談室
(ハローワーク)を
ご利用ください**

お仕事探し・求人募集に関するご相談は、お気軽に窓口をご利用ください。

▽利用時間 月～金曜日 9時～16時30分

※年末年始・祝日を除く

▽場所 市民交流センター1階

■珠洲市地域職業相談室

☎(82)0157



募集

**放送大学
令和4年4月生募集**

放送大学は、令和4年4月入学生を募集します。テレビやインターネットをとおして、心理・教育・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など幅広い分野を学ぶことができます。

▽出願期間

【第1回】令和4年2月28日(月)まで 【第2回】令和4年3月15日(火)まで

※個別相談を随時受け付けています(対面・オンラインどちらでも)

※問い合わせや資料請求はお気軽に左記まで問い合わせください。

■放送大学石川学習センター
☎076(246)4029

珠洲のご自慢大会 出場者募集!

「珠洲のご自慢大会」を2年ぶりに開催します! 珠洲市を愛する石川県内在住の方なら、どなたでも参加できます。

▽日時 令和4年2月6日(日)13時(開場12時)

▽場所 ラポルトすず

▽申込方法 12月17日(金)までに、申込用紙に必要事項を記入し、応募箱に入れてください。

※申込用紙と応募箱は、各公民館、珠洲市民図書館、ラポルトすず、珠洲市役所1階に設置してあります。

また、下記のQRコードからの申し込みも可能です。

▽そのほか 新型コロナウイルス感染症などの状況により中止となる場合があります。



問い合わせ
■石川県青年協議会事務局
☎076(252)7178
※受付平日10時～15時、水曜除く
※電話連絡いただいた方には、珠洲市青年協議会の担当者から折り返し連絡します。

行事・イベント

**のと里山空港
12月のイベント**



●のっぴーグラスづくり

▽日時 12月12日(日)10時～12時、13時～15時

▽場所 のと里山空港 4階

▽参加費 無料 ※限定50個、小学生以下優先

▽申し込み 下記まで、電話

ご厚志ありがとうございます
11月19日 受付分まで (敬称略)
■知育教材(市内保育所)
珠洲市共同募金委員会
■沢木欣一書 俳句色紙(道の駅す塩田村)
松岡恵水(輪島市)
■金5万円(社会福祉費)
刀祢春子(宝立町)

にて申し込みください。

▽注意事項 ●新型コロナウイルス対策のため、人数制限があります。

●マスクを着用してご参加ください。また、検温を実施しています。発熱のある方や体調不良の方は参加できませんので、ご了承ください。

▽そのほか 感染症の状況により、イベントが中止となる場合があります。イベントの詳細や開催状況は、ホームページにて最新の情報をご確認ください。



■奥能登総合事務所企画振興課
☎0768(26)2303

奥能登オンラインバー

奥能登の造り手たちとオンラインで乾杯しませんか。蔵元たちに聞きたいあれこれ、なんでもリアルタイムでお答えします。

事前登録は不要で、参加費も無料です。お気に入りのお酒、おつまみ、酒器でご参加ください。

▽日にち 12月5日(日) ライブ配信
●第1部 15時～16時

最新情報は
twitterで
オンライン販売中!
詳しくは
twitterで

奥能登乾杯めぐり
呑み比べセット
全15酒 オンライン限定300セット

YouTube LIVE
https://www.youtube.com/channel/UCasip1Ae7ZUDWMLy7GiCnyQ

「乳がん・子宮頸がん検診」 「骨粗しょう症検診」について

健康増進センターを会場とした集団検診は終了しましたが、12月28日(火)まで下記の病院で受けることができます。まだ受診していない方は、ぜひ受診してください。

医療機関名	電話番号
珠洲市総合病院	☎(82)1181
市立輪島病院	☎0768(22)2222

※各医療機関へ直接申し込みください
※珠洲市総合病院での子宮頸がん検診は水曜日午後のみ受診できます
※骨粗しょう症検診は、珠洲市総合病院でのみ受け付けます
※上記医療機関以外での受診を希望される場合は、健康増進センターへお問い合わせください



○乳がん検診

■対象 40歳以上の女性
■料金 700円

○子宮頸がん検診

■対象 20歳以上の女性
■料金 700円

○骨粗しょう症検診

■対象 今年度50・55・60・65・70歳になる女性
■料金 300円
■問い合わせ 健康増進センター ☎(82)7742

12月15日(水)まで延長します!

大腸がん検診



大腸がんは、早期には自覚症状がないので、「異常を感じたら」では手遅れになる場合があります。早期に発見することで、多くの場合、負担が少ない内視鏡の手術で治療できます。検査は、自宅で便を採取し、提出するだけ。ぜひ1年に1度大腸がん検診を受けましょう。

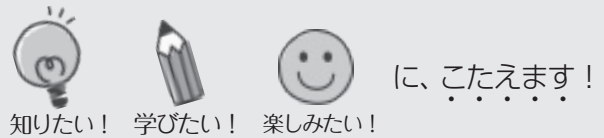
■対象 40歳以上
■料金 200円
■申し込み 12月15日(水)まで
■検査物提出期限 12月22日(水)まで

～申し込み方法・検診の流れ～

- 健康増進センターの窓口、もしくは電話☎(82)7742で申し込み、検査容器・受診票を受け取る
- 2日分の便を採取する
- 検査容器・受診票・検診料(200円)を健康増進センターに提出する(平日 8:30～17:15)
- 自宅に結果が届く

今月の納期

国民健康保険税第5期
固定資産税第4期
後期高齢者医療保険料第9期
納期 12月27日(月)



珠洲市民図書館

開館時間 9時～18時30分 休館日 月曜日・祝日・年末年始
☎(82)3377 Fax (82)0675



読み聞かせボランティアによる「おはなし会」

■日時 12月4日(土) 10時30分～
■読み手 「どんぐりの会」のみなさん



「ささやかな朗読会」

小説や詩を耳で楽しむ屋下ガリの朗読会。「静かに読書」とは一味違う、本の楽しみ方を体感しませんか？

■日時 12月4日(土) 14時～
■読み手 「すず朗読文芸ラドリオ」のみなさん
■朗読作品 夏目漱石『坊ちゃん』より



えほんとかみしばいのよみかせ

幼児から就学前のお子さんにおすすめ！参加したお子さんには、カードにスタンプを押します。集めるといいことがあるかも！？

■日時 12月18日(土) 14時～
■テーマ 『クリスマス』



上映会「シアター図書館」

土曜日は子ども向け、日曜日は大人向けを上映します。時間は、それぞれ11時～16時まで連続上映しています。

■子ども向け 12月25日(土)
■内容 「トムとジェリー」(60分) …ねこのトムとねずみのジェリー。クリスマスでも仲良くケンカ中？
■大人向け 12月26日(日)
■内容 「世界で一番しあわせな食堂」(114分) …フィンランドの小さな食堂を舞台に、地元の人たちと異国の料理人の出会いを描く。

すべて参加無料、申し込み不要です

珠洲焼 × クリスマス展

珠洲焼館では、「珠洲焼 × クリスマス展」を開催しています。クリスマスの装飾をした館内にランプシェードやクリスマス用テーブルウェアを展示します。

入場無料です。お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。



■期間 12月26日(日)まで開催中
■時間 9時～17時
■珠洲焼館 ☎(82)5073



珠洲焼体験企画「花入れ」作り

■日時 1月16日(日) 9時～12時
■場所 陶芸センター
■参加費 1人1,500円
■申し込み期間 12月1日(水)～15日(水)
■その他 ・汚れてもいい服装またはエプロンを着用し、手拭きタオルを持ってくる。
・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者同士の距離を保つため、定員を15人程度としています(申込多数の場合は抽選とし、結果は12月19日(日)までに電話でご連絡します)
■申し込み 陶芸センター ☎(82)3221

農林水産省登録で「安全・安心」

バイオマス肥料 為五郎

珠洲市浄化センターでは、「為五郎」を無料でお渡ししています。1袋15キロ入りで、成分分析を行い安全性を確認しています。

1回に30袋以上注文される人には無料で配達も行います。また、ご近所でまとめた注文も可能です。ご注文は下記までご連絡ください。(受付時間は平日8時30分～17時15分)

■環境建設課上下水道係 ☎(82)7786

ようこそ！ロビーの

国際ロビー

世界中のいろいろな文化が行き交う、「ロビー」の「国際ロビー」へようこそ！

ロビーが撮った
珠洲の写真
公開中！！



国際交流員 ハンソン・ロバート・デービッドさんのお話 ③

こんにちは！珠洲もようやく寒くなりましたね。冬の寒さや雪があまり好きではない方もいるかと思いますが、私は好きです！以前、私の地元ミネソタ州と珠洲の冬対策の比較やミネソタ州の寒さを紹介しましたが、冬が非常に寒い場所で育ってきた私は冬になるとうれしくなります。しかも、寒い時期にコタツに入ることがすごく好きです！

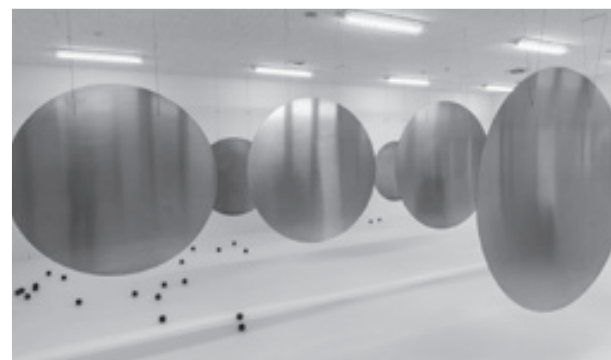
1か月前になりますが、みなさんは芸術祭の作品めぐりをコンプリートされましたか？私は全部回った後、好きな作品に3～4回くらい行きました！鑑賞するだけでなく、一度だけで満喫したかもしれませんが、写真を撮るのが趣味なので、撮った写真を見て、「こう撮ればよかったな」と思い、ついまた行ってしまいました。撮る機会が沢山あるイベントの開催が本当に楽しかったです。

写真だけではなく、受付をした時もいろいろな人と話すことができ、とてもいい経験でした！残念ですが海外から観光客があまり訪れなかったのも、通訳ができませんでしたが、どうしてアメリカ人が受付しているかに関する質問をたくさん聞かれました！開催期間はあっという間に終わりましたが、良い芸術祭だなと思いました。

さて、12月になったということはあれしかありませんね。アメリカで1番人気の祝日ですね。そう、クリスマス！

クリスマスは個人的に1年間の1番好きな日です！クリスマスの音楽(特にマイケル・ブूपレの曲)やクリスマスの飾りなど、12月に入ってから全体的にいい雰囲気になります。それと、寒く雪の降るミネソタから来たことで、いわゆる「ホワイト・クリスマス」が恋しくなります！

今回はクリスマスの由来について説明しますが、みなさんはアメリカのクリスマスとはどういった印象があるのでしょうか？クリスマスといえば、サンタやクリスマスツリー、プレゼントなどの物を思い浮かべますね。アメリ



芸術祭作品No.10「Autonomo」 カールステン・ニコライ

カでクリスマスはキリスト教の祝日だとよく言われますが、それもご存じでしたでしょうか？

キリスト教の歴史は複雑ですが、実はクリスマスは元々キリスト教の日から始まったわけではないです！ハロウィンが古代ケルト民族の収穫祭で始まったと同じように、昔はさまざまな文化で真冬に何かの祭りがありました。一つの人気の祭りはサトゥルナリアというローマの12月末の祭りで、その日からクリスマスのプレゼント交換をすることが始まりました！途中で、ローマ教皇のユリウス1世が、イエスは12月25日に生まれたと決めて、キリスト教のサトゥルナリア祭りのような日を作ろうとしたと思われる。そのように、今のクリスマスはいろいろな文化の習慣が混じった日になっています。

もう1つの例はクリスマスツリーです！16世紀のドイツでは常緑樹を家の中でリンゴやナッツで飾ったりしました。18世紀にイギリスにも人気になって、キリスト教のクリスマスでもクリスマスツリーを飾ることになりました。

現在は宗教の意味を問わずクリスマスを祝う人がたくさんいるので、いろいろな習慣があるクリスマスをシンプルに楽しむことができます。日本だとクリスマスよりもお正月の方が大切かもしれませんが、みなさんも寒い冬を楽しく過ごしてください！



去年、ラポルトすぐで行ったクリスマスパーティー！

★今月の国際交流サロン★

国際交流サロンは外国語や異文化と触れ合えるイベントです！気軽に珠洲に住んでいる外国人と仲良くしませんか？

■日時 12月22日(水) 19時～20時

■場所 ラポルトすぐ

■問い合わせ 観光交流課 ☎(82)7776

※新型コロナウイルスの影響などにより中止する場合があります

一般会計			
歳入	予算額	収入済額	収入率
市税	1,415,774	841,065	59.4%
地方交付税	5,100,000	3,798,314	74.5
市債	2,956,100	0	0.0
国庫支出金	855,108	193,614	22.6
県支出金	457,832	95,359	20.8
繰入金、地方消費税交付金など	2,136,375	717,042	33.6
計	12,921,189	5,645,394	43.7

歳出	支出済額	執行率
民生費	2,860,082	656,314 22.9%
衛生費	2,741,365	1,435,432 52.4
公債費	1,618,480	734,415 45.4
総務費	1,319,875	585,736 44.4
土木費	1,199,100	550,234 45.9
教育費	790,781	332,961 42.1
商工費	1,163,599	144,483 12.4
消防費	634,247	250,194 39.4
農林水産業費、議会費、災害復旧費など	593,660	238,453 40.2
計	12,921,189	4,928,222 38.1

特別会計			
会計区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	1,733,868	630,338	683,073
介護保険	2,901,847	1,199,562	1,112,113
後期高齢者医療	305,590	94,966	102,721
賃貸住宅事業	25,866	11,437	6,531

企業会計			
病院事業			
収益的	収入予算額	4,003,536	資本的
	収入済額	1,889,151	
	支出予算額	4,059,494	
	支出済額	1,821,836	
	収入予算額	489,947	
	収入済額	150,000	
	支出予算額	698,464	
	支出済額	317,099	

水道事業			
収益的	収入予算額	654,061	資本的
	収入済額	364,016	
	支出予算額	584,001	
	支出済額	72,735	
	収入予算額	131,036	
	収入済額	78,694	
	支出予算額	569,504	
	支出済額	130,427	

下水道事業			
収益的	収入予算額	771,801	資本的
	収入済額	438,784	
	支出予算額	771,801	
	支出済額	47,458	
	収入予算額	494,473	
	収入済額	122,623	
	支出予算額	728,922	
	支出済額	269,488	

市有財産の状況			
土地	2,892,454 m ²	基金(現金、預金)	6,055,108
建物	137,378 m ²	有価証券	68,250

●市民1人あたりの支出予定額 962,759円
※特別会計を合わせると1,332,863円

●市民1人あたりの市税負担額 105,489円
※9月30日現在の人口13,421人で算出

■企画財政課財政係 ☎(82)7721

令和3年度上半期

予算執行状況を公表します

市では、みなさんから納めていただいた市民税や固定資産税などの税金や、国・県からの補助金などの収入でまちづくりを進めていますが、その使い道を年2回公表しています。

今回は令和3年4月から9月までの執行状況をお知らせします。

※金額は、千円単位です。

市税収納の状況			
税目	予算額	収納済額	収納率
固定資産税	679,821	414,351	61.0%
市民税(個人)	469,453	247,611	52.7
市民税(法人)	73,463	49,406	67.3
市たばこ税	91,872	48,990	53.3
都市計画税	48,771	28,904	59.3
軽自動車税	49,000	49,633	101.3
入湯税	3,394	2,170	63.9
計	1,415,774	841,065	59.4

主な投資的事業	
事業の内容	予算額
一般廃棄物処分場整備事業費	676,901
(仮称)珠州市立新保育所整備事業費	510,840
道路・排水路の整備	365,930
防火水そう新設事業費	50,800
観光施設維持管理費	45,713
森林病虫害等防除事業費	35,992
奥能登国際芸術祭基盤整備事業費	31,139
農村総合整備事業費	22,180
多目的ホール運営事業費	18,559
県営ため池等整備事業費負担金	18,364
中央霊園管理費	16,840
県営急傾斜地崩壊対策事業費負担金	15,200
学校施設修繕費(小学校)	11,031
河川整備事業	11,000
ゴミ処理施設管理費	10,428



金沢大学能登学舎の窓から

マイスター受講生が定置網の製造現場を視察

■フィールド調査実習で能登の現場に

能登里山里海 SDGs マイスタープログラムでは、隔週土曜日の能登学舎での講義のほかに、受講生自身が視察先を決めて少人数のグループで実際の現場での体験や聞き取りをする「フィールド調査実習」があります。今回はその視察のひとつに同行した際の様子をご紹介します。

■能登町「有限会社 柳田製網」

10月末に受講生が能登町の「有限会社 柳田製網」に伺い、能登半島でも盛んな定置網漁業を支える定置網がどのように製造されているのかを視察しました。金沢や東京からオンラインで視察に参加する受講生もいました。谷坊美明社長が対応してくださいました。

石川県のホクモウ株式会社のグループ会社として定置網の製造・修繕をされている柳田製網では、能登地域だけでなく房総半島や東北地方、北海道など全国で使用される定置網の製造をしているそうです。親会社の工場で製造された網が柳田製網に届きます。注文先の要望に合わせ谷坊社長が作った設計図



▲谷坊社長から定置網づくりの流れや設計の上で大事にしていることなどを伺いました。

に沿って、従業員の方々が網の縫い合わせや浮きの取り付けなどを手作業で行い、作業場いっぱいの大きな定置網が作り上げられていました。従業員は女性が多く、産休制度や定年制の廃止など働きやすさを大事にされており、80代の方も現役で網づくりの腕を振るっているとのことでした。技術の高さから、柳田製網で作ってほしいと指定してくる水産業者もあるそうです。



▲広い工場いっぱいに完成間近の網が広がっていました。隣の工場ではすでに次の網の製造が始まっていました。

■里山里海の産業を支える道具づくり

製網業はたくさんの人手が必要なため、谷坊社長は地域の人口減少を課題として心配されていました。以前、揚げ浜製塩業でも胴桶や鉄製の平窯を製造している業者が減っていて困っているという話を聞いたことがあります。製塩業や漁業など里山里海の産業を支える道具づくりの重要性について知ることができる貴重な機会となりました。

●岸岡智也【さしおかともや】

金沢大学先端科学・社会共創推進機構 博士研究員。専門は農村計画学。趣味のバードウォッチングで能登のあちこちで野鳥の写真を撮っています。



～「能登の里山里海学会 2021」開催～

午後の物販コーナーは参加自由です。お気軽にお越しください！

■日時：12月4日(土)

■会場：金沢大学能登学舎(三崎町小泊)

詳細はwebサイトをご覧ください➡



金沢大学公開講座

「北欧の教育最前線」

■日程 12月4日(土)(全2回)

■時間 13時～16時

■場所 すず市民交流センター3階(市役所庁舎向かい)

■講師 本所恵(人間社会研究域学校教育系 准教授)ほか

対象は高校生から一般。定員は8人です。申し込みや参加費は不要です。お気軽にお越しください。詳しくは…**金沢大学能登学舎 ☎(88)2568**まで。

赤ちゃんが うまれました



(赤ちゃん) (性別) (両親) (住所)

1件の届け出がありました。



すえなかく
おしあわせに!

上谷 文人 (三崎町) ♥ 池田 真澄 (羽咋市)

山下 龍之介 (中能登町) ♥ 濱田 恵美 (飯田町)

このほか2件の届け出がありました。

(10月22日～11月22日受付分・敬称略)



の動き

(10月31日現在)

10月の動き

	世帯数	人口	男性	女性	5,991世帯	13,406人	6,201人	7,205人	前月比 (- 2)	(- 15)	(- 5)	(- 10)	転入	転出	出生	死亡
													16人	16人	4人	19人

(住民基本台帳人口)

家屋を建築・取り壊したときは、届け出をお願いします！

令和3年中に、家屋の一部または全部を取り壊したときや、新築・増築したときには忘れずに税務課へ届け出をお願いします。

取り壊しの届け出が遅れると、必要のない固定資産税が翌年度にも課税されることがありますので、注意してください。

※固定資産税は、毎年1月1日現在の状況で課税されます

問い合わせ

■税務課資産税係 ☎(82)7736

奥能登絶景海道 2022 Calendar



奥能登絶景海道
カレンダー2022
販売中!

珠洲の美しい四季折々の風景を掲載

■販売場所 観光交流課、環境建設課、市内道の駅(すずなり・狼煙・すず塩田村)、ラポルトすず

■販売価格 1本1,000円
限定500部なので、お早めにお買い求めください

■観光交流課 ☎(82)7776

第74回

珠洲市成人式

■開催日 令和4年1月9日(日)10時30分～
(受付9時30分～)

■場 所 ラポルトすず

■対 象 平成13年4月2日から
平成14年4月1日までに生まれた人
※すでに案内・出欠確認のハガキを送付しています。
該当者でハガキが届いていない人は下記までご連絡ください。

■その他 ①当日はマスクの着用をお願いします。
②新型コロナウイルス感染症の状況により、ご家族をはじめ、一般の方の入場をご遠慮いただく場合があります。

■問い合わせ

教育委員会事務局生涯学習係 ☎(82)7826

ごみ収集などのお休み



■市内ごみ収集業務

■奥能登クリーンセンター業務

期間 12月31日(金)～1月3日(月)

■冬期間の埋立処分場の受け入れ日程

冬期間(1月～2月)は利用者が少ないことから、月曜日と土曜日の受け入れを休止し、次のとおり受け入れ業務を縮小します。

受け入れ日・時間(水曜日9時～16時)

1月 5日・12日・19日・26日

2月 2日・9日・16日

■環境建設課環境係 ☎(82)7743

■奥能登クリーンセンター ☎(62)8222

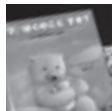
スポーツ施設のお休み

期間 12月29日(水)～1月3日(月)

■対象施設 健民体育館、武道館、ウエイトリフティング場、健民テニスコート、野球場、多目的広場、鉢ヶ崎テニスコート、グラウンド・ゴルフ場

■健民体育館 ☎(82)5100

珠洲市民図書館のお休み



期間 12月29日(水)～1月3日(月)

■珠洲市民図書館

☎(82)3377

すずキッズランドのお休み

期間 12月29日(水)～1月3日(月)

■珠洲市子どもセンター ☎(82)5479

珠洲焼資料館のお休み

期間 12月29日(水)～1月3日(月)

■珠洲焼資料館 ☎(82)6200

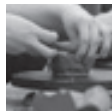
珠洲焼館のお休み



期間 12月31日(金)～1月4日(火)

■珠洲焼館 ☎(82)5073

陶芸センターのお休み



期間 12月29日(水)～1月3日(月)

■陶芸センター ☎(82)3221

市庁舎のお休み



期間 12月29日(水)～1月3日(月)

●出生・死亡・婚姻届などは「当直室」で受け付けます。

■市役所(代表) ☎(82)2222

各公民館のお休み

期間 12月29日(水)～1月3日(月)

■教育委員会事務局生涯学習係 ☎(82)7826

生涯学習センターのお休み

(旧中央図書館)

期間 12月29日(水)～1月3日(月)

■教育委員会事務局生涯学習係 ☎(82)7826

ラポルトすずのお休み



期間 12月28日(火)～1月4日(火)

■ラポルトすず ☎(82)8200

珠洲市総合病院のお休み



期間 12月29日(水)～1月3日(月)

●救急患者は、休診日に関係なく診療します。

■珠洲市総合病院 ☎(82)1181

年末年始小児科救急当番医

年末年始の期間中、小さなお子さんとその家族が安心して過ごせるよう、能登北部医師会は小児科医独自の当番医を実施します。

12月29日(水)	まるおかクリニック(穴水町)
30日(木)	
31日(金)	珠洲市総合病院・市立輪島病院
1月1日(土)	2日(日)
3日(月)	まるおかクリニック(穴水町)

●救急診療時間は9時から12時までです。

●担当が変わることがあります。事前に確認してお越しください。

■珠洲市総合病院 ☎(82)1181

■市立輪島病院 ☎0768(22)2222

■まるおかクリニック
☎0768(52)8228



2名の掲載がありました！

・個人情報保護の観点から web 掲載は控えています

・市内全戸配付している紙媒体に掲載しています。

みなさんも今しかないお子さんの姿を掲載してみませんか。右記の注意事項をご確認のうえ、お申込ください。

このコーナーでは市内に住む小学校入学前のお子さんの写真を募集しています。お子さんの写真(データ推奨)に以下を添えて、ご応募ください。

- ①お子さんの氏名(ふりがな) ②誕生日
③性別 ④住所 ⑤電話番号
⑥40字以内のコメント ⑦撮影の希望について

※1月号には、12月8日(水)までにご応募ください。応募多数の場合は掲載が次の号になることがあります
※現像写真の場合、写真の返却はできません

《メールでの申し込み》

✉ it@city.suzu.lg.jp

《郵送での申し込み》

〒927-1295 珠洲市役所総務課情報統計係
☎(82)7715

生き物観察会 報告会



市内小学校の3年生が中心となって、生き物観察会で学んだことや感じたことを発表します。みなさん、ぜひお越しください！

■日時 12月11日(土) 10時～11時30分

■場所 ラポルトすず 大ホール

■その他 【保護者・一般の方の観覧ができます】
新型コロナウイルス感染症対策のため、来場される際は検温の上、マスクの着用をお願いします。

問 自然共生室
☎(82)7716



SDGs 学習 取組み報告会



市内小学5・6年生と中学生が、能登 SDGs ラボと連携し SDGs について学んできました。各学校での学習を通しての発見や驚き、今後の取り組みについてなどを児童、生徒が発表します。

■日時 12月11日(土)

(小学5・6年生) 13時45分～14時45分

(中学1～3年生) 14時55分～16時00分

■その他 【保護者・一般の方の観覧ができません】
発表の様子は、能登 SDGs ラボのホームページでご覧いただけます。また、能越ケーブルテレビでも、後日放映します。

能登 SDGs ラボ

検索

問 教育委員会事務局 ☎(82)7816